

全国交流集会参加申込み 締切日：10月10日(水) 必着

下の申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAXもしくはメールでお申し込みください。
申し込み用紙は全国災対連のホームページからダウンロードできます。 <http://www.zenkoku-saitairen.jp/>

申し込み用紙				
フリガナ 氏 名			都道府県	所属団体・職場等
	男・女			
連絡先 (自宅/職場)	住 所	〒 都 道 府 県 市 区 町 村		
	連絡先電話番号	FAX		
	携帯電話番号	E-mailaddress		
宿泊・夕食 (希望に✓を)	☐ 全日程参加(1泊2食) ☐ 夕食交流会+参加費 8,500円 ☐ 参加費(1日) 2,000円			
分科会 (必須)	第1分科会・第2分科会・第3分科会・第4分科会・第5分科会 (希望する分科会に○を)			
直行バス (希望に✓を)	☐ 11日：盛岡駅発 10:00、ホテル着 13:00 予定(昼食は各自。途中コンビニで) ☐ 12日：ホテル発 12:00、盛岡駅着 14:40 予定(14:50 発はやぶさ24号接続) 片道 2,000円(現地精算)			
☐ オプション・被災地バスツアー (4,000円(昼食付き・希望者は✓を入れて下さい))				
バスツアー参加希望の方は9月30日(土)までに申し込んで下さい				

東北被災3県から参加される方の申込み先

岩手県：救援・復興岩手県民会議 TEL 019-625-9191 FAX 019-654-5092
宮城県：復興支援みやぎ県民センター TEL 022-399-6907 FAX 022-399-6925
福島県：ふくしま復興共同センター TEL 024-522-3097 FAX 024-522-3102

上記以外の地域から参加される方の申込み先

全国災対連 TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620

新幹線利用：新花巻駅～JR釜石線～釜石駅～ホテル迎え

飛行機利用：いわて花巻空港～バス～花巻空港駅～花巻駅～JR釜石線～釜石駅～ホテル迎え
(ホテルの送迎を希望する方は事前にホテルに連絡をしてください)

実行委員会送迎バス利用：盛岡駅～貸し切りバス～ホテル

出発：10:00、盛岡駅・西口マリノス1f前



岩手のたたかいに学ぶ

被災者・被災地の声を生かした人間復興

災害対策 全国交流集会 2018 in いわて

日時

11月11日(日)～12日(月)

会場

三陸花ホテルはまぎく

岩手県大槌町浪板海岸 0193-44-2111

- 参加費／3,000円(1日のみ2,000円)
- 宿泊費／15,000円(1泊2食)
- 申し込み用紙4p／締切10月10日(水)

◆バスツアー申込締切／9月30日(土)

1日目

受付：12:30～
全体会：13:00～
記念講演：14:10～
シンポ：15:15～
懇親会：19:00～

2日目

分科会：08:30～
全体会：11:10～
閉会：12:00

バスツアー：12:20出発

憲法をいかし、防災、被災者本位の復旧・復興と原発ゼロへ

被災者に寄り添った岩手のとりくみと教訓を学び、全国の被災地でのとりくみにいかす。また、政府による被災者の切りすてや風化、原発事故の損害賠償打ち切りなどを許さず、憲法25条と13条の幸福追求権を確保する被災者本位の震災復興を国民共同の課題とすることをめざします。

東日本大震災から7年となるもとで、水害被災地の復興状況や被災者がかかえる問題をあらためて検証・共有し、政府による復興期間10年の2020年度末があと2年数ヶ月にせまるもとで、被災者の切りすてを許さず、被災者本位の復旧・復興の課題を考え、交流し、学ぶ集会をめざします。

これまでの自然災害をふまえ、首都直下地震や南海トラフなどの大地震、火山噴火、豪雨、土砂災害をはじめとする自然災害に対する防災、減災のあり方と、生活再建をはじめ人間復興におけた法改正や法整備、災害対策の制度設計のあり方、自治体の役割などを検討します。

主催 全国交流集会 2018 in いわて

＜実行委員会の構成・連絡先＞

○全国災対連 ○東京災対連 ○復興岩手県民会議 ○みやぎ県民センター
○宮城災対連 ○ふくしま復興共同センター

＜連絡先＞ 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連気付 TEL03(5842)5611 FAX03(5842)5620
<http://www.zenkoku-saitairen.jp/> Email: saigai-shien-kaizen@zenkoku-saitairen.jp

1 日 目（1 1 日・日）

全 体 集 会

1 3 : 0 0 ～ 1 7 : 3 0

主催者挨拶・来賓挨拶

被災地からの報告

記念講演 東日本大震災から8年目の今を考える



齋藤徳美・岩手大学名誉教授・岩手県復興委員会総合企画委員長

地域に根ざした岩手大学の基本理念「岩手の大地と人と共に」を提唱。1998 年に噴火危機を迎えた岩手山の火山防災体制を構築、2011 年東日本大震災の復興計画の起草と進捗管理を担う。

シンポジウム 被災者、被災地の声を生かした復興

安全の確保、生業の再生、暮らしの再建などの課題について、3 県の現状と課題、とりくみなどを交流し、真の復興に何が求められるのかを考えます。

コーディネーター 齋藤徳美・岩手大学名誉教授

パネラー 斉藤 信 岩手県議会議員

日本共産党県議団長として、丹念な調査と鋭い質問で被災者の命とくらしを守る大震災津波からの復興、くらし・福祉最優先の県政めざし奮闘。

小川静治 みやぎ県民センター事務局長

県が進める「広域防災拠点整備計画」や「水産特区」の問題点をきびしく追及。被災者が住み続けられる災害公営住宅にむけ自治体交渉の先頭に立つ。

宮本しづえ ふくしま復興共同センター事務局次長・福島県議会議員

第1 原発事故の安全な収束・廃炉、徹底した除染と完全賠償、県民の健康管理を求める「ふくしま復興共同センター」の事務局次長として奮闘。日本共産党県議団幹事長。

2 日 目（1 2 日・月）

分 科 会

0 8 : 3 0 ～ 1 1 : 0 0

第1分科会



被災者本位の復興と支援を考える

- ・被災者の現状と課題
- ・人間復興のために何が必要か
- ・復興期間後の支援、復興庁の役割と今後

福島原発事故と原発再稼働を考える

- ・原発事故から7 年が経過した福島の実態と課題
- ・安倍政権の原発推進計画と再稼働反対の運動
- ・原発ゼロ基本法の実現にむけて



第2分科会

第3分科会



被災者の住まいとまちづくり

- ・どうすればできる避難所の環境整備
- ・プレハブでいいのか応急仮設、復興住宅のあり方は
- ・被災者が住み続けられるまちづくり

地震や豪雨にどう備えるか、防災を考える

- ・自然災害の多くは「人災」
- ・ハザードマップ、ブロック塀など地域のリスクを検証
- ・防災にむけた国や自治体などの公的責任は



第4分科会

第5分科会



被災者に役立つ支援制度を考える

- ・支援制度の現状と課題―被災者が求めるものは
- ・生活再建支援法の抜本改善の課題
- ・被災者とともにどうとりくむか

全 体 集 会

1 1 : 1 0 ～ 1 2 : 0 0

分科会報告・全体討論

まとめ・閉会挨拶

オプション被災地バスツアー

出発：1 2 時 2 0 分・ホテル前



陸前高田市「奇跡の一本松」

白砂青松で知られた高田松原。陸前高田市に壊滅的な被害をもたらした3・11 東日本大震災。この高田松原にも襲いかかりましたが、一本の松が奇跡的に残されました。

中心市街地・共同店舗アバッセ

震災復興事業として、中心市街地に整備された商店街、広場、文化施設などが入居する複合施設です。



震災遺構・追悼施設



県民の憩いの場として、また、訪れる観光客の立ち寄り所として親しまれた道の駅高田松原（タピック45）。現在は震災遺構として保存され、その敷地内に追悼施設があらたに設置されました。

帰路・新幹線接続

一関駅15:40 着～15:50 発 新幹線 やまびこ52 号～乗り換え～
仙台駅16:30 発 新幹線はやぶさ28 号～東京駅着18:04 着